



インスピレーションになるう

RI 会長テーマ

2018~2019 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



会 長 浜田 浩誠
副会長 木下 彰則
幹 事 菅野 嘉洋

＝会長指針＝
初心を忘れず、寛容の心で
よりよい奉仕を進めよう

．．． 例 会 記 録 ．．．

9月第4週例会 2018年 9月27日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 29,000円(報告者 大西竜介会員)
本日出席率 : 63.46% 前回修正後100%(メークアップ12名)(報告者 古内一二会員)

★ 会長の時間 浜田浩誠会長



先週の金曜日、宇都宮東 RC から直前ガバナー太城様はじめ、次期会長幹事、プログラム委員長、社会奉仕委員長、5名の方が大船渡に3年計画で桜の植樹をしたいとのことでした。

西ロータリーからは、濱守パストガバナー、菅野幹事、鈴木次期会長の計9名で大船渡市役所へ行ってまいりました。

戸田市長を交え、植樹の候補地等、

話し合いをしてきました。今年度は、多分3月ごろになると思いますが約80本の植樹をしたいと思います。

次年度は、当クラブとマッチングという形になると思いますがこれも約80本位、又その翌年は、宇都宮東ロータリーの60周年の記念事業としてももう少し多くの桜を植樹したいとの事です。

合計、300本ほどの植樹になりそうです。

私個人としては、かもめテラスのそばに県と市が現在工事中の公園が良かったのですが現在の段階では、既に植えるものが決まっています、発注済みなので、多分無理だろうとの事でした。

北上の展勝地は日本さくら名所100選に認定され、青森県の弘前(ひろさき)、秋田県の角館(カクノダテ)と並んで「みちのく三大桜名所」として有名で、毎年、桜の時期になると県内外からの観光客で賑わいます。一年のうちのほんの数日ですが物凄い人になります。

展勝地の桜は、1920年(大正9年)に桜の植栽事業で植えられたもので約1万本の桜と10万株のツツジがあります。

ソメイヨシノの寿命は、60年寿命説が有力な中、この桜は、樹齢80年以上のソメイヨシノが約2kmにわたって桜並木になっていきます。大径になる木は理論上は寿命がないと考えられておりますが、事実展勝地の桜は、年々満開になっても花びらの数は、少なくなっていると聞きます。

弘前の桜は、明治時代に植えられたため、昭和20年代に入ると公園内のサクラが寿命期にさしかかり、段々と衰えサクラの管理が本格的に行われるようになり、リンゴ栽培をお手本とした管理方法で次第にサクラは蘇りました。また、このリンゴ栽培を元にしたサクラの管理は若返り法と呼ばれ、常に若い枝に花をつけ1つの花芽から多くの花を咲かせます。

現在の大船渡の町の道路や歩道がどの様になるのかよくわかりませんが、今復興中の町中が桜の木で一杯になって、何十年先か分かりませんが桜の名所になれば良いと思います。

話は、変わりますが昼と夜は、宇都宮東ロータリーの5名と西から4名、夜は、菊池弘郎社会奉仕小委員長を交え、10名で親睦会を致しました。



宇都宮東 RC はガバナーを3名排出しているクラブで、現在123名の会員数で出席率は、平均で85%だそうです。 $123 \times 0.85 \approx 104$

会員のホテルニューイタヤで毎週結婚式の様な例会だそうです。

月に2回インターネットを通じてweb例会もしているそうで、例会場に居なくても例会場にディスプレイを置いて例会に参加としているようです。

女性入会希望者があっても他のクラブへ紹介している為、現在も女性会員は0、今後も入会は無いらろうと言っていました。

又、クラブ内の親睦もゴルフや野球は勿論の事、日本酒クラブ、ワインクラブ、ビールクラブとかウォーキングクラブ、私の記憶力が悪いのでこれ位しか覚えていませんがコレの倍位のクラブがある様です。

日本酒クラブは、とりあえずビールでは無く最初から日本酒で最後まで日本酒、ワインクラブも最初から最後までワインだけ、ウォーキングクラブは、何をするか聞いたところ歩くだけだそうです。

何より凄いの、退会者がほぼ居ないに等しい事、随分前までは2、3年で退会する会員が多かったそうですが、とにかくみんなが参加できるような同好会、クラブを作ってから退会者は殆どいないそうです。

当クラブでも、何か退会防止になるような楽しいクラブでも作っていただけたら良いと思いますので、何かいい案があればいつでも

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 日本事務局より 10月のロータリーレート $1\text{ドル} = 112$ 円と連絡あり。
- 2 米山記念奨学会より 10月米山月間資料が届いています。
- 3 ガバナー事務所より 岩手大学よりの文書が転送されてきております。

人権擁護大会シンポジウム第1分科会開催の案内が届いています。

テーマ 外国人労働者100万人時代の日本の未来 日時 10月4日(木) 12時30分~18時
場所 青森市文化会館 ※ 事前申し込み 参加費 不要

◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

★ 佐藤良クラブ奉仕委員長

26日北上カントリークラブにて、秋季ゴルフコンペを開催しました。

結果は、水野賢一会員が優勝、おめでとうございます。

コンペ終了後、大船渡にて表彰式と懇親会を開催し、その席においてゴルフクラブ会長を阿部会員とする事を決定いたしました。

春季コンペも開催予定ですので、その際には多くの方々のご参加お願い致します。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

青少年奉仕アワー : 年次大会参加報告

★ 三浦和士副幹事



去る8月7日、仙台の常盤木学園で開催されましたインターアクトクラブの年次大会に出席してまいりました。出席というよりはむしろ同行と言ったほうが合っているかと思えます。昨年は花巻東高校で開催され、わたくしもインターアクト担当でありましたが、なんだかんだで参加することができませんでした。今年は青少年奉仕委員会に属していないので参加する予定にしていなかったのですが、急遽行くこととなりました。これには深いわけがあります。ここでは、わけを割愛させていただきますが、喜んで行ってまいりました。ともかく、次期会長の鈴木さんに車を提供してもらい、さらに運転までお願いして

非常に恐縮した次第です。ありがとうございました。

さて、年次大会の様子ですが、小雨の中到着した常盤木学園は閑静な住宅街にある感じで、9時過ぎに到着したんですが、開会を控えて慌てている風もなく、生徒たちも整然と動いている様子から事前の段取りも良く余裕があるんだなと感じました。

会場はシュトラウスホールという300人から400人くらいが収容できるステージ付きのホールで、音楽科の生徒さんによる演奏で歓迎行事を楽しみました。以下、大会の様子については藤丸委員長から発表されると思いますので、お任せしたいと思います。

和やかに穏やかに進められた年次大会ではありましたが、一つだけ私にとってつらい場面がありました。それは、グループ討議で皆さんが活発に意見交換をしている最中、それに参加しない私と鈴木さんはホールに残り、ながい休憩を持て余すのかなと思ったら、鈴木さんから宿題を出され、これがまた難しい問題で、休憩はできませんでした。恥ずかしいことにいまだに回答は出せていません。

夕方5時の解散でしたので、帰りは八時過ぎくらいに到着をもくろんでいましたが、東高校の生徒さんもお腹がすくだろうとか配慮し、休憩を含み途中で夕食をとりました。そのことが仇になったかどうか、帰り路の途中が夜間通行止めの道路工事で遠回りとなってしまい、大船渡についたのが11時頃だったと記憶しております。

ともあれ、高校生の態度も良かったですし、将来に希望の持てる内容が多く、わたくしにとって大変充実した年次大会でした。機会を与えていただいた皆さんに感謝をしたいと思います。

それでは藤丸委員長、お願いいたします。

★ 藤丸数子青少年奉仕委員長



8月7日(火)に2018-2019年度国際ロータリー第2520地区インターアクトクラブ年次大会に参加してまいりました。当クラブからは次期会長の鈴木信男さん、副幹事の三浦和士さんと青少年奉仕委員長の私 藤丸数子の3名、大船渡東高校のインターアクトクラブから会長の新沼奈央さん、副会長の山村明日香さんの2名と佐々木敦子先生が参加し、計6名の参加でした。開催場所は仙台の常盤木学園高等学校でした。

当日の朝はあいにくの雨でしたが、鈴木信男さんの車で朝6時過ぎに盛駅を出発し、沿岸ルートを行きました。

参加校は岩手から11校、宮城から10校合計21校でした。

岩手から参加したのは、岩手県立福岡工業高等学校、花巻東高等学校、岩手県立北上湘南高等学校、専修大学北上高等学校、岩手県立黒沢尻工業高等学校、岩手県立花泉高等学校、一関修紅高等学校、岩手県立大船渡東高等学校、岩手県立千厩高等学校、一関学院高等学校、岩手県立盛岡農業高等学校です。

開会行事の前に歓迎行事として常盤木学園音楽科の生徒さんたちの歌やピアノ・バイオリン演奏がありました。会場となった音楽科棟内にあるシュトラウスホールは、常盤木学園のシンボルで、「世界一の響き」と讃えられる「ウィーン楽友協会大ホール(ムジークフェライン)」を理想に設計された、クラシック演奏にふさわしい本格的なホールとのこと。他のホールとの違いを言い表すことはできかねますが、そのような素晴らしいホールで演奏を聴いてきました。



歓迎行事が終わりまして、開会行事がありました。

開会点鐘、インターアクトの歌斉唱、大会実行委員長挨拶・歓迎の言葉、祝辞、参加インターアクトクラブ紹介・ロータリークラブ紹介、閉会点鐘でした。

開会行事の後、生徒さんたちは常盤木学園の英語の先生とレクリエーションを行いました。

常盤木学園の英語の先生が進行役で、参加した生徒さんたちにお題を出してグ



ループを作ったり、身体を動かしたりしていました。

また、用紙を配布して、こんな人を見つけましょうというお題で参加している生徒さんの中から探すというのもありました。

昼食の後は、グループ討議のためのドラマ鑑賞が1時間ほどありました。見終わった後、数名毎のグループに分かれ今回の大会テーマである「真の日本人とは」という内容でグループ討議をし、グループの代表者が発表をしました。各グループがそれぞれの思いを発表していました。

発表後は閉会行事へと進み、朝9時30分から夕方17時までのインターアクト年次大会が終了しました。

帰る際にみんなで記念撮影をしました。

向かって左側が東高校インターアクトクラブの会長の新沼奈央さん、左側が副会長の山村明日香さんです。

帰りは自動車道にはいつてすぐ、事故のため降りることになってしまい、道路も非常に混んでいて進まず、帰りが遅くなってしまいました。

ただ、私は夕食後の眠気に耐えられず、気付いたら大船渡に着いていたのであまり長時間の移動と思わなかったのですが、運転していた信男さんと三浦さんはずっと起きていたので、非常に長い一日だったことと思います。

信男さん、三浦さん大変おつかれさまでした。

また、ありがとうございました。いろいろありましたが、貴重な体験をさせていただいた一日でした。

以上で年次大会の報告を終わります。

